資料１－１

生物多様性と地球環境に関する国際的な動向

●特定の課題や場所のみを対象とする既存の国際条約（ワシントン条約、ラムサール条約等）に限界があり、包括的な国際的枠組が必要。
●1980 年代に「持続可能な開発」という概念が提唱された。従来の「保全」という考えに加えて「持続可能な利用」という概念が誕生。

生物多様性条約の３つの目的

生物多様性の保全	生物多様性の構成要素の持続可能な利用	遺伝資源の利用から生ずる利益の公正で衡平な配分（ABS）

年	生物・生態系関連の動向	温暖化、その他地球環境の動向
1972 （S47）		ローマクラブ「成長の限界」 **国連人間環境会議** ストックホルム ／国連環境計画（UNEP）設立
1974 （S49）	日米渡り鳥等保護条約締結	
1975 （S50）	ラムサール条約発効（71年採択）／ワシントン条約発効（73年採択）／ 世界遺産条約発効（72年採択）	ロンドン海洋投棄条約発効（72年採択）
1977 （S52）		国際砂漠化防止会議
1980 （S55）		米国「西暦2000年の地球」発表 地球上の生物種の15～20%が2000年までに絶滅のおそれありと予測
1983 （S58）	ボン条約（移動性野生動物の種の保全に関する条約）発効（79年採択）	「環境と開発に関する世界委員会（WCED）」設置
1987 （S62）		**WCED “持続可能な開発”という概念の提唱**
1988 （S63）		オゾン層保護に関するウィーン条約発効（85 年採択）
1989 （H1）		オゾン層を破壊する物質に関するモントリオール議定書発効（87 年採択）
1990 （H2）		IPPC（気候変動政府間パネル）報告／世界気候会議
1992 （H4）	**生物多様性条約（CBD）採択** ナイロビ	**環境と開発に関する国連会議**（UNCED、地球サミット） リオ 「環境と開発に関するリオ宣言」採択、「アジェンダ 21」採択、「生物多様性条約」署名公開、「気候変動枠組条約」署名公開、「森林原則声明」採択
1993 （H5）	**生物多様性条約発効**	国連「持続可能な開発会議（CSD）」／日米首脳会議「日米コモンアジェンダ」提案
1994 （H6）	IUCNレッドリスト評価基準の変更	国連海洋法条約発効（82年採択）／**気候変動枠組条約発効（92年採択）**
1995 （H7）	日中トキ保護協力事業開始／国際サンゴ礁イニシアティブ（ICRI）の構築	国際海事機関（IMO）油汚染に関するOPRC条約発効（90年採択） UNEP陸上活動からの海洋環境保護に関する世界行動計画採択
1996 （H8）	アジア・太平洋地域渡り性水鳥保全戦略の策定 IUCN世界保全会議 アマミノクロウサギ保護勧告採択	砂漠化防止条約（UNCCD）発効（94年採択）
1997 （H9）		国連環境開発特別総会／APEC持続可能な海洋環境のための行動計画採択
1998 （H10）		南極条約環境保護議定書発効（91年採択）
1999 （H11）	ラムサール条約締約国会議 湿地の登録基準の見直し、登録湿地倍増を決議	第１回日中韓環境大臣会合（ソウル）／世界環境デー東京開催
2000 （H12）	IUCN世界保全会議 ジュゴン勧告採択／IUCN外来種対策ガイドライン策定	
2001 （H13）	ミレニアム生態系評価開始	東アジア酸性雨モニタリングネットワーク 本格稼働
2002 （H14）		OECD環境保全成果レビュー 経済的手法などを勧告 **持続可能な開発に関する世界サミット（ヨハネスブルク・サミット）**
2003 （H15）	第5回IUCN世界公園会議（WCC）開催	第3回世界水フォーラム
2004 （H16）	第10回国際サンゴ礁シンポジウム開催（沖縄）サンゴ礁の保全と再生に向けた「沖縄宣言」を採択	国際海事機関（IMO）バラスト水管理条約採択（未発効） ロシア京都議定書批准へ／ワンガリ・マータイ氏ノーベル平和賞受賞
2005 （H17）	**ミレニアム生態系評価承認**（5月に理事会声明発表）	**京都議定書発効**（97年採択）
2006 （H18）	東アジア・オーストラリア地域フライウェイ・パートナーシップが発足	「不都合な真実」（アル・ゴア）
2007 （H19）	コーラルトライアングル・イニシアティブ（CTI）が発足	IPCC第4次評価報告書 地球温暖化が加速していることを報告／ 東アジア越境大気問題が深刻化／アル・ゴア氏ノーベル平和賞受賞
2008 （H20）	国際サンゴ礁年（2008年）／TEEB中間報告書公表／ 神戸・生物多様性のための行動の呼びかけ（G8環境大臣合意）／ ラムサール条約第10回締約国会議 韓国 日韓共同で提案した水田決議採択	洞爺湖サミット ポスト京都議定書が焦点 G8環境大臣会合「ポツダム・イニシアティブ」決定 京都議定書第一約束期間「2008～2012」開始
2009 （H21）	神戸生物多様性国際対話	G8環境大臣会合「シラクサ宣言」採択／鳩山首相、国内のCO2 25%削減、国連で表明 国際自然エネルギー機関(IRENA)設立
2010 （H22）	SATOYAMA Initiativeに関するパリ宣言 ICRIアジア地域サンゴ礁保護区ネットワーク戦略が合意 **生物多様性条約第10回締約国会議（COP10）（於：名古屋）、国際生物多様性年** TEEB（生態系と生物多様性の経済学）が公表 IPBES（生物多様性と生態系サービスに関する政府間科学政策プラットフォーム）が正式に設立	
2011 （H23）	国連生物多様性の10年開始年／国連国際森林年／EU生物多様性国家戦略策定	
2012 （H24）	生物多様性条約第11回締約国会議（COP11）（於：インド）	**地球サミット 2012（リオ＋20） リオデジャネイロ** グリーン経済、持続可能な発展のための制度的枠組が2大テーマ

各種資料から環境省自然環境局作成